

もう難しいと思ったが、最後のチャンスにかける！

でも支援の力が絶対に必要！ → この期待に応える

地域連絡会の討議を！ トヨタ攻めの決意と体制を！

討論では患者会の中心メンバーから「気力を振り絞っても、残された体力でどこまでやり切れるのか？」という厳しい条件が率直に発言されました。

冒頭に石川さんは「国会行動」を報告。2016年に始めた国会議員要請は二年間で21回に及んだ。衆院34名、参院18名の52名の紹介議員を組織した。同時に、当初30名程度の参加者がこの7月には10名前後とかなり減っている。中心的な会員の死去・高齢化によって活動力が低下している。気力があっても体力が伴わない。残された体力でどうやりきるのか、相当の決意が求められる。続いて国師さんは「幹事会の討議」を紹介。いよいよ最終局面に入った。この二年間必死にやってきたがなかなか突破口が見えないなかで幹事会の討議でも「もう難しいのでは…」という意見が相当あった。この行き詰まった状況で新しい提起をうけ幹事全員が発言。「もう少し頑張ってみる。ここに賭けてみる」ということで何とか患者の力を発揮したい。トヨタ攻めが勝負と思う。支援の力が絶対に必要。“あの和解のときの最終盤のように”トヨタ攻めの行動を展開し、トヨタを動かしたい。

「夢中になり、必死になると不思議と力が出る。」(大田・和田)「健康友の会の協力を得て千葉の患者掘り起しをすすめる」(千葉・濱島)「公害調停申立に5人の参加を約束した。9月27日には支部・連絡会の合同会議を開く。和解後に入会して活動してきたが、お陰さまで安心して治療ができた。この制度復活が私の悲願だ」(中野杉並・進藤) 連絡会・弁護団からも発言。最後に増田事務局長が討議をまとめ、①全国公害患者会の団結と公害被害者団体との連帯 ②秋の臨時国会の「署名提出行動」 ③12月の公害調停申立行動などを提起。

大気汚染NO2 カプセル測定

東京報告集会(10月6日)のお知らせ

都内1万カ所の測定結果が報告されます。また、大気汚染と健康問題、道路建設・石炭火力発電所建設問題の報告・交流が予定されています。

■ 日 時 2018年10月6日(土)13:00～17:00

■ 会 場 渋谷区立消費者センター5F・第1会議室